

【全国高等学校対象】
2022年度に向けた
「総合的な探究の時間」に関するアンケート

完全版レポート

株式会社Z会ソリューションズ

実施期間 : 2021年7月2日～2021年7月25日

協力依頼校 : 全国4,747校の高等学校・中等教育学校

有効回答数 : 247校 (公立 152校 / 私立 92校 / 国立 3校)

アンケート手順 :

1. 全国4,747校の高等学校に対してFAXにて、アンケートの協力依頼
2. FAXに記載の二次元コードより、アンケートフォームを活用してご回答いただく

1. 「総合的な探究の時間」のカリキュラム・内容について
2. 探究課題について
3. 単位の配分について
4. 総合探究用の教材(書籍)の採用について
5. 外部の方や、外部業者とのかかわりについて
6. 教員向け校内研修について
7. 「総合的な探究の時間」に関する教育企業への期待について

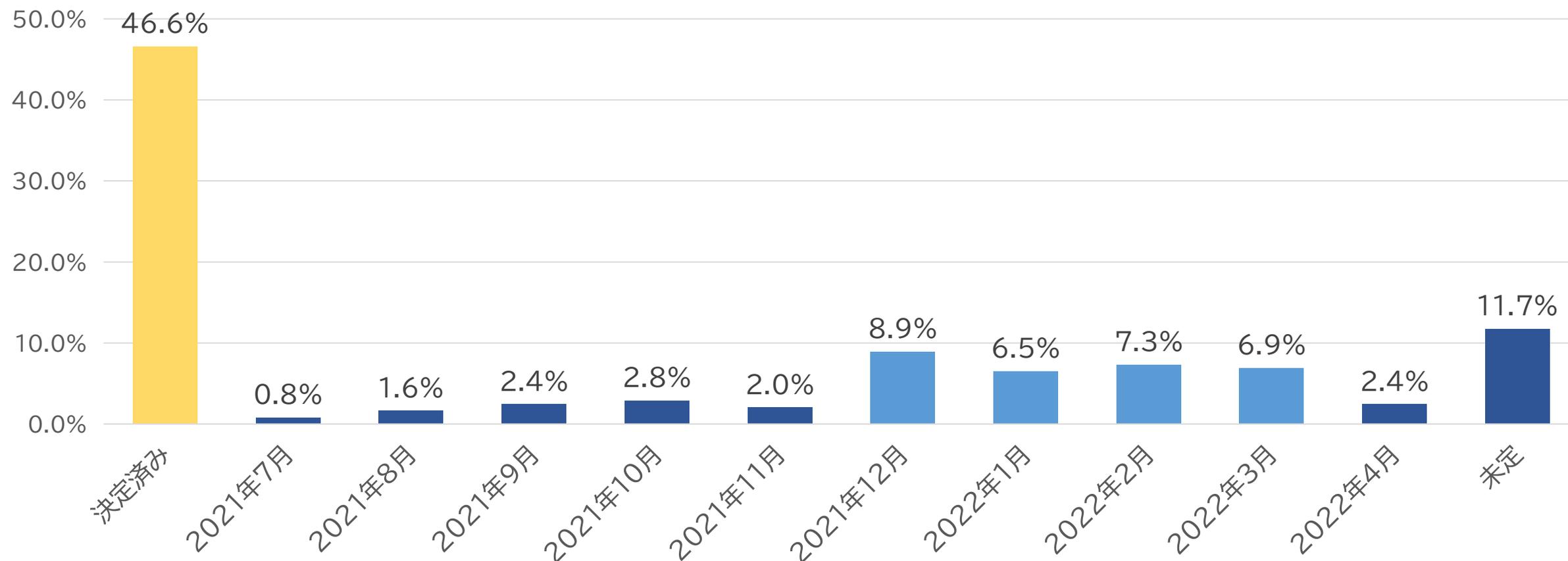
<具体的な質問内容>

- 2022年度「総合的な探究の時間」のカリキュラムや内容はいつごろ決定なさいますか？
[単一選択]
- 「総合的な探究の時間」のカリキュラムや内容を検討するにあたっての検討者についてお教えください。[単一選択]
- 2021年度「総合的な学習の時間」のカリキュラムや内容に対し、2022年度の「総合的な探究の時間」のカリキュラムや内容に変更はございますか？ [単一選択]

2022年度のカリキュラムや内容の決定時期

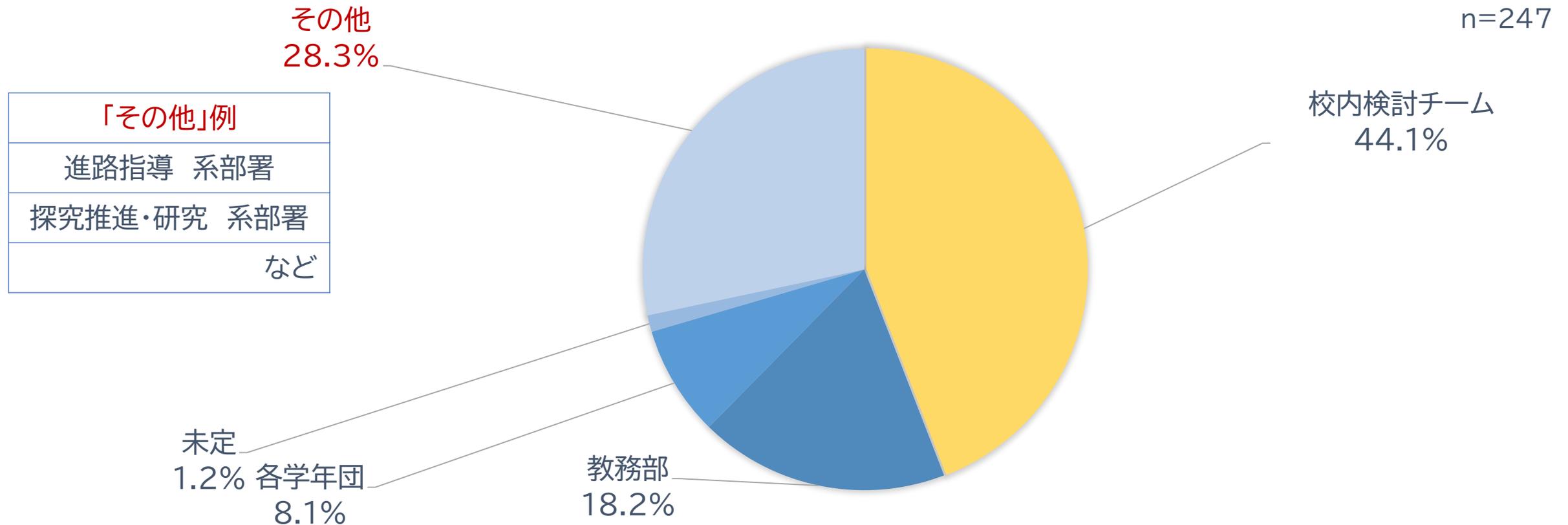
- ▶ 2022年度のカリキュラムや内容が既に(2021年7月以前に)決定している学校が約半数
- ▶ 未決の学校は、年末～3学期にかけての時期が多い

n=247



「総合的な探究の時間」のカリキュラムや内容を決定した部署

- ▶ 新たに、校内検討チームが発足されるケースが多数
- ▶ 「その他」の中では、独自で探究推進・研究系の部署を設置しているケースもみられた

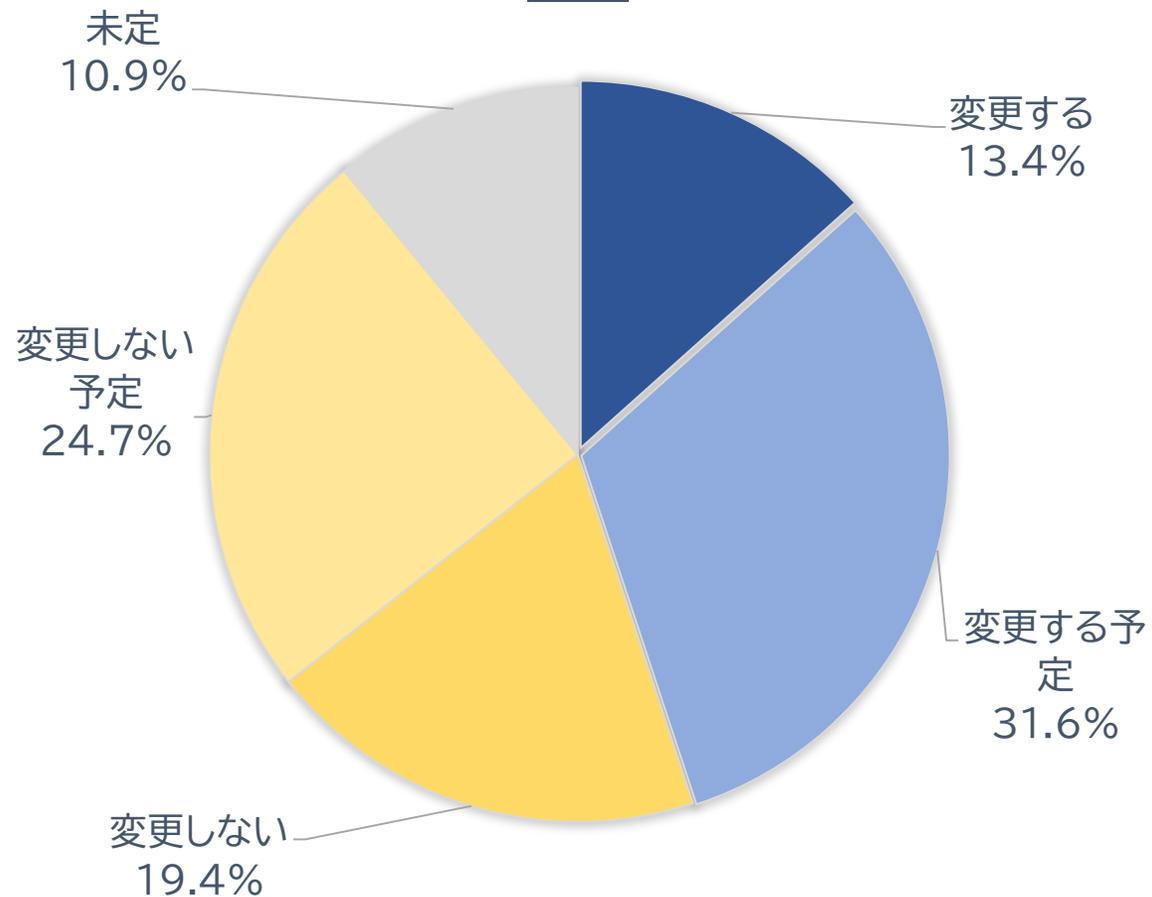


2021年度「総合的な学習の時間」のカリキュラムや内容に対する 2022年度「総合的な探究の時間」のカリキュラムや内容の変更の有無

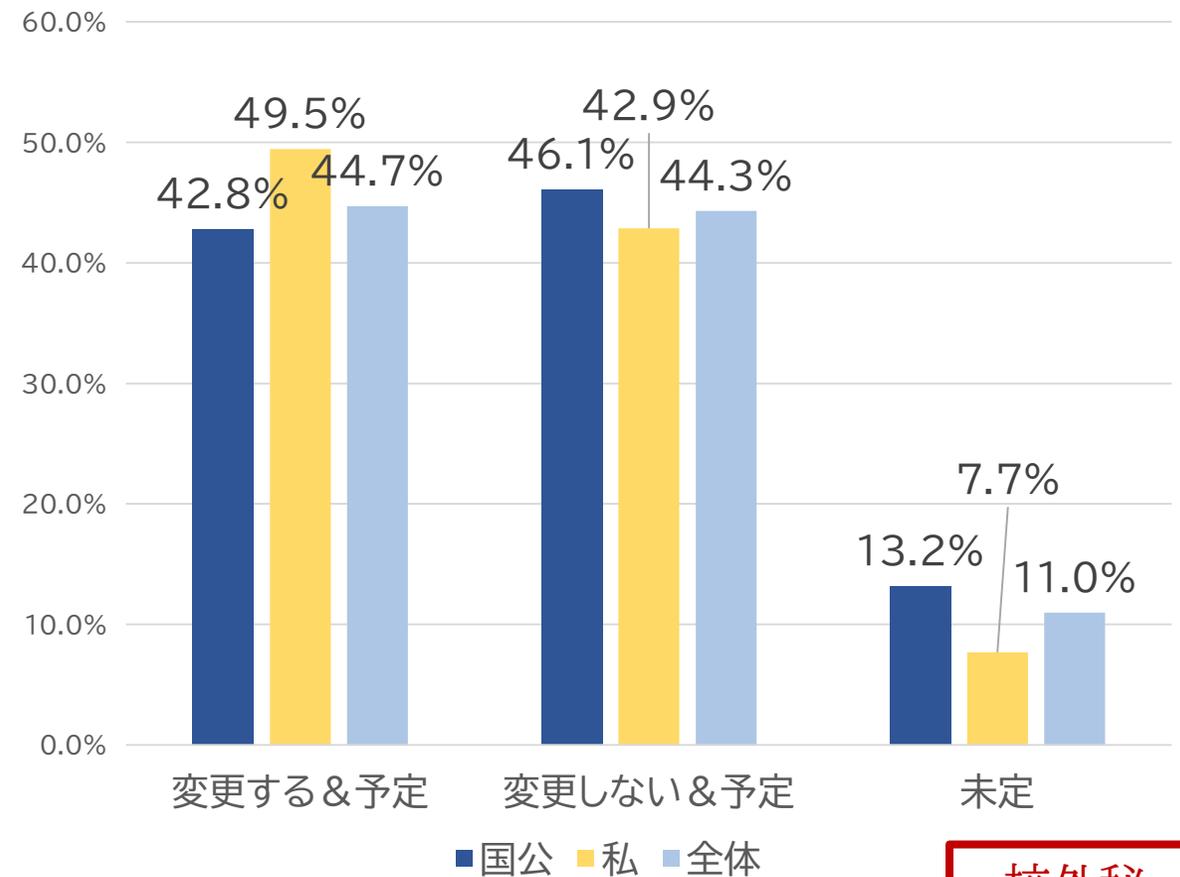
- ▶ 科目名は変更になっても内容やカリキュラムを変更しない学校が4割程度
- ▶ すでに探究活動に重点が置かれた取り組みが行われていることが予想される

n=247

全体



立区分別集計



校外秘

<具体的な質問内容>

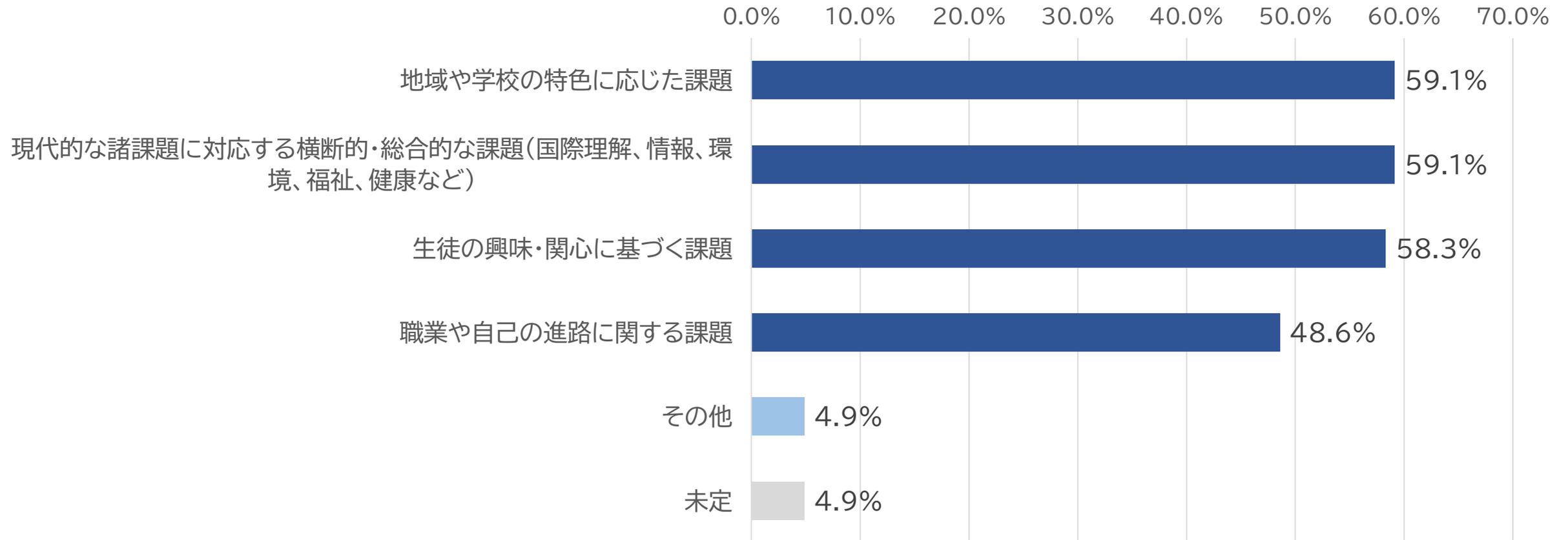
- 探究課題のジャンルをお教えてください。[複数選択可]
- 校内における探究課題のテーマ内容やテーマ名称をお教えてください。[記述式]

▶ 学習指導要領に記載されているジャンルが万遍なく選択されている

※複数選択可の質問では、各項目において回答校数のうち何割が選択したのかを集計

ex) 「地域や学校の特色に応じた課題」を選択した学校は、247校中146校

n=247

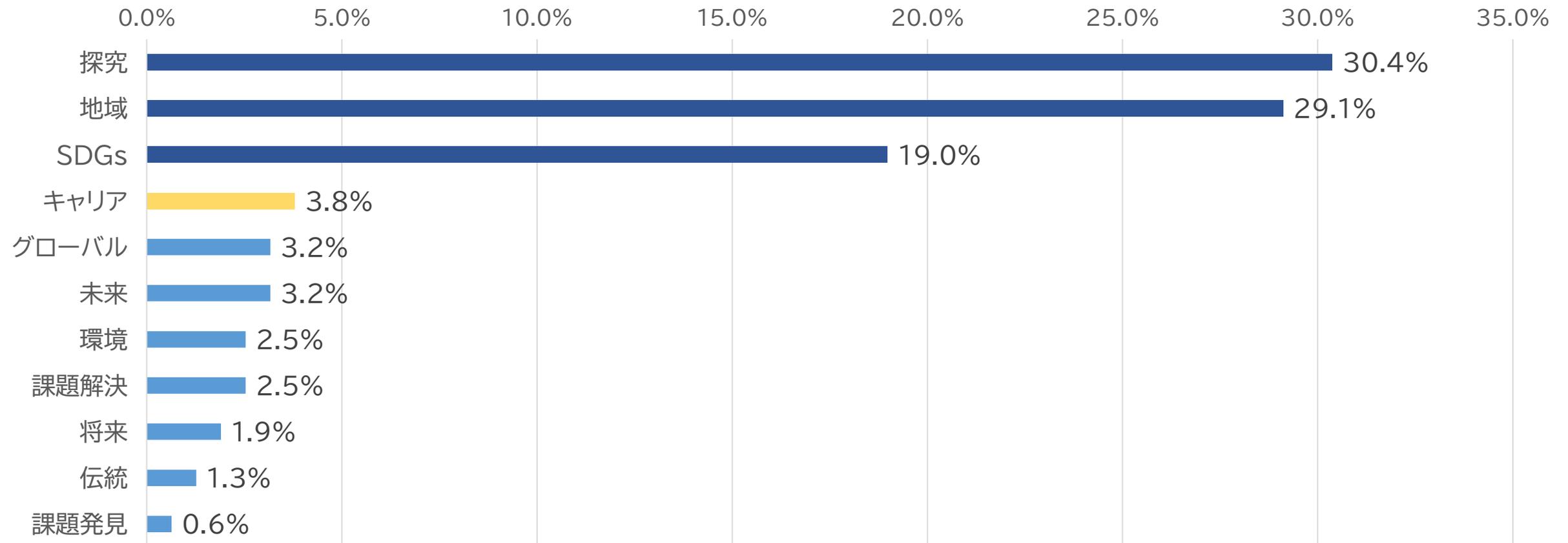


校外秘

探究課題のテーマ名称で使用されたキーワード

- ▶ 探究課題のテーマ名称において「探究」「地域」「SDGs」というキーワードが上位を占める
- ▶ 総合的な「学習」から「探究」に変更するにあたり「自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら」ということが重要視されてはいたものの、「キャリア」というキーワードが使用されている割合は3.8%にとどまった

n=158



校外秘

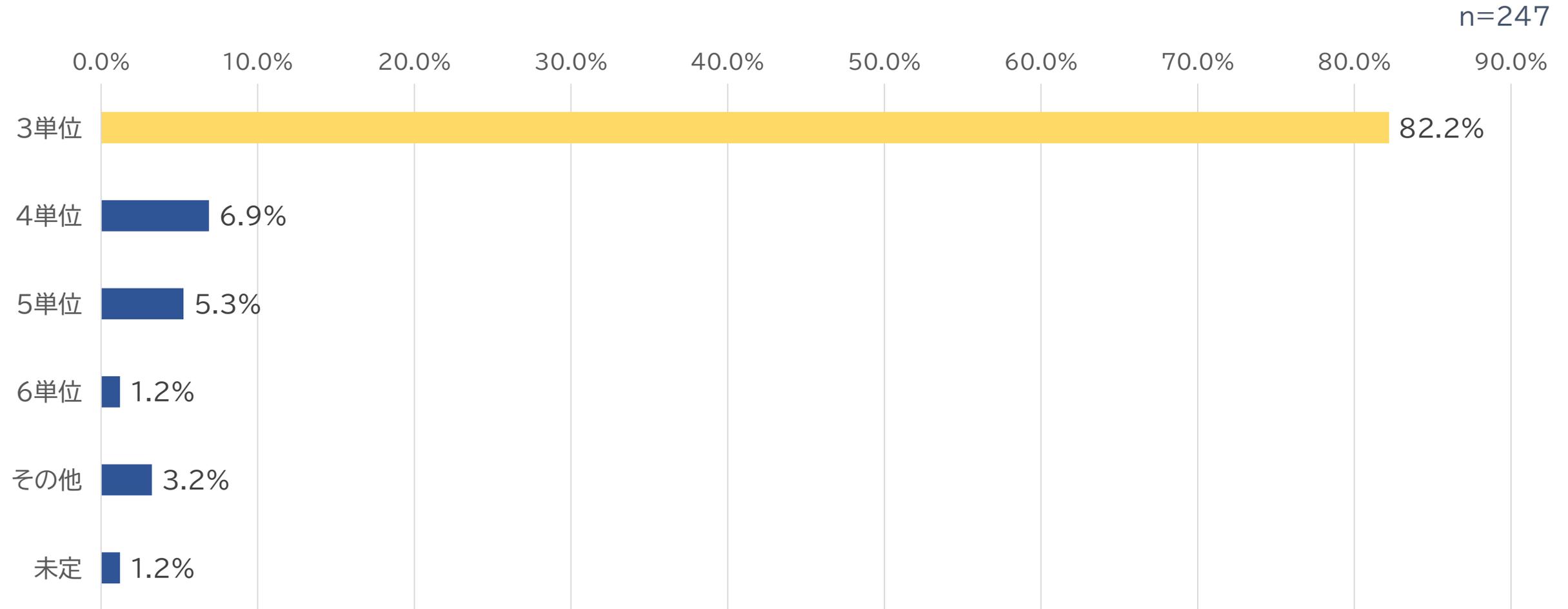
<具体的な質問内容>

- 高校3年間の総単位数をご回答ください。[単一選択]
- 各学年の単位数をご回答ください。各学年の合計単位が高校3年間の総単位数となるように選択ください。

[学年ごとに単一選択] … 高校1学年 / 高校2学年 / 高校3学年

「総合的な探究の時間」高校3年間の総単位数

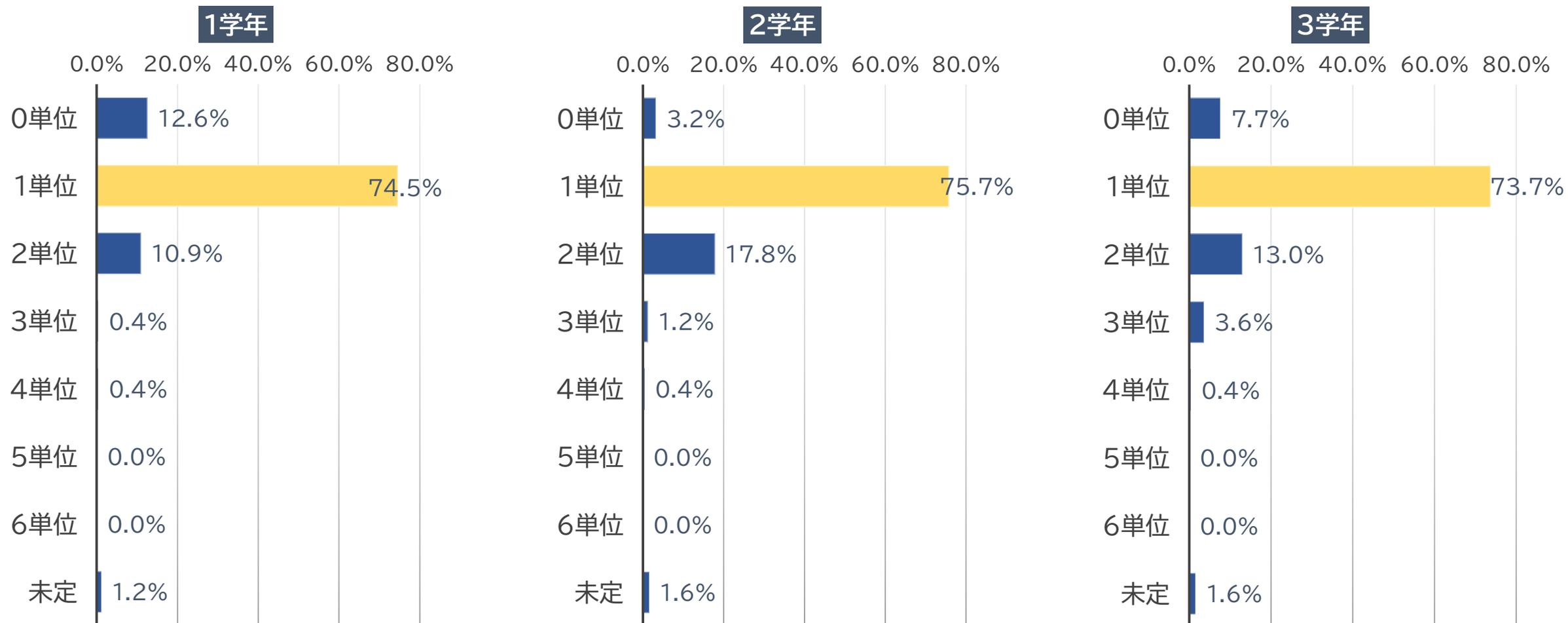
▶ 8割以上の学校が高校3年間で3単位



「総合的な探究の時間」の各学年における単位数

▶ 各学年1単位が最も多い

n=247



4. 総合探究用の教材(書籍)の採用について

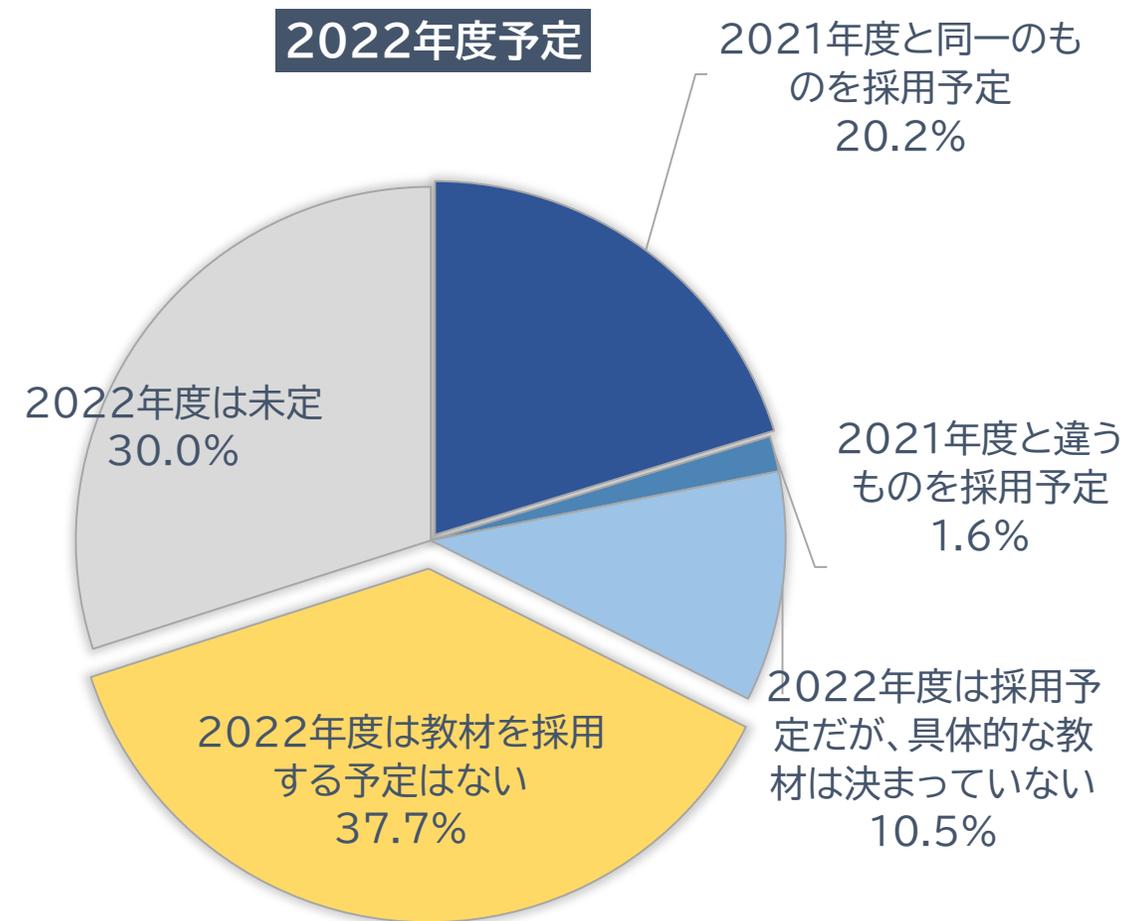
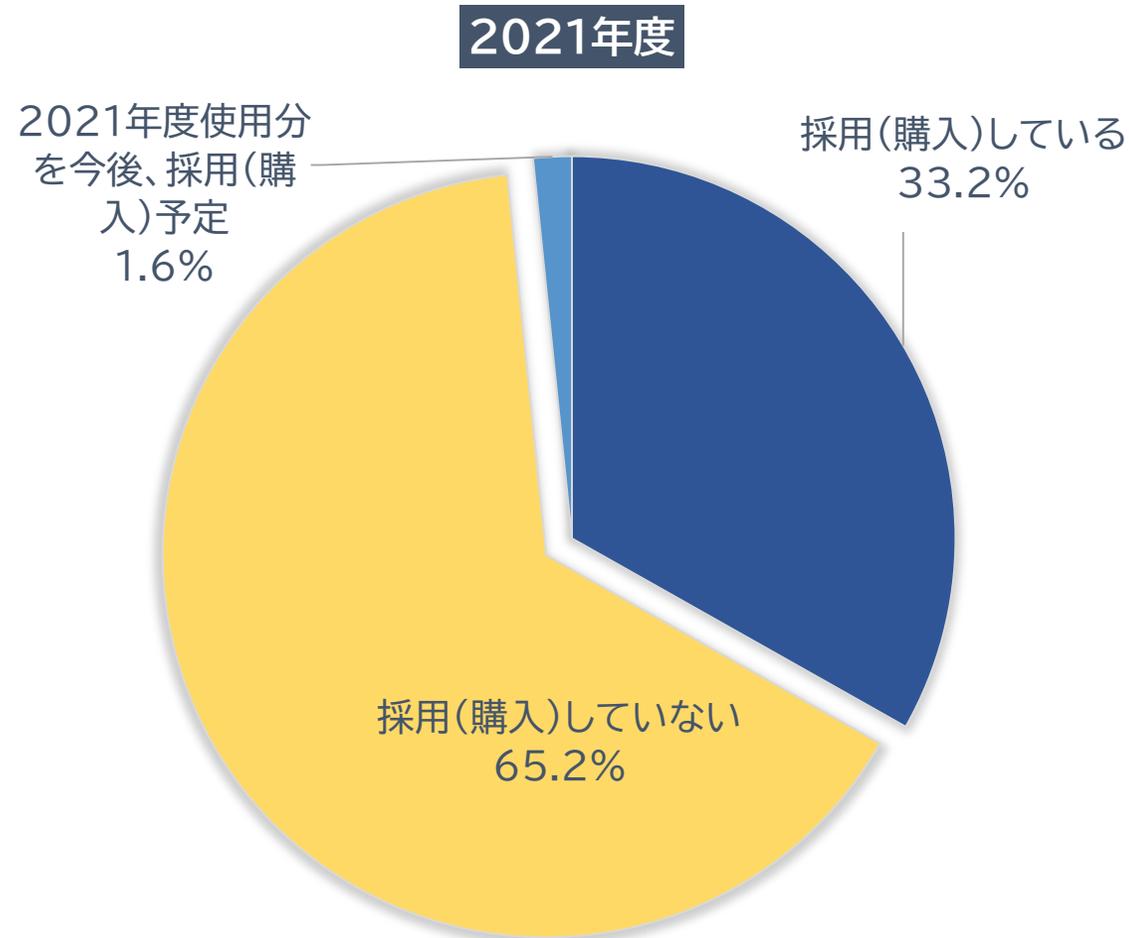
<具体的な質問内容>

- 2021年度に「総合的な探究の時間」用の教材を採用されましたでしょうか？
[単一選択]
- 2022年度には「総合的な探究の時間」用の教材を採用される予定でしょうか？
[単一選択]
- 教材費の年間予算(予定)をお教えてください。
[単一選択]

2021年度 「総合的な探究の時間」における教材採用の有無

▶ 2021年度に教材の採用がなかった学校でも2022年度での購入は未定の学校が一定数ある

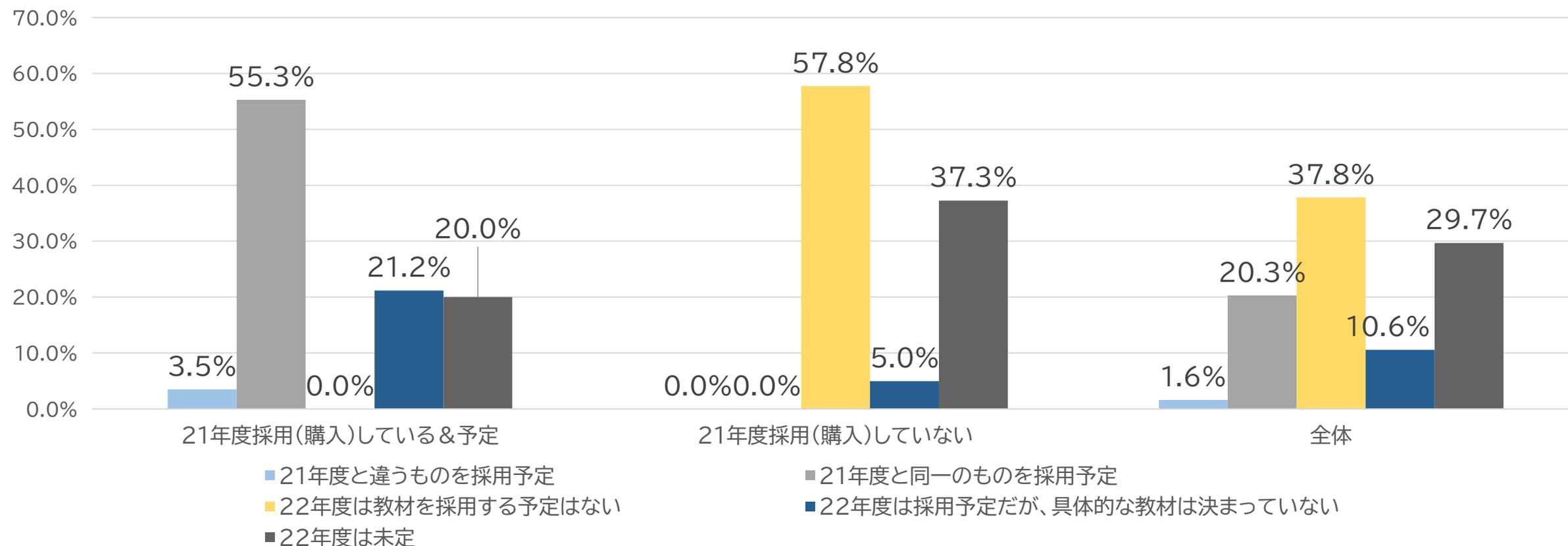
n=24



2021年度・2022年度の教材採用方針の変化

- ▶ 2021年度に教材を採用した学校は、2022年度に同一のものを採用する考えが5割以上を占める
- ▶ 2021年度に教材を採用していない学校は、2022年度も採用しない考えが6割弱を占めるも、未定としている学校も3割を越える

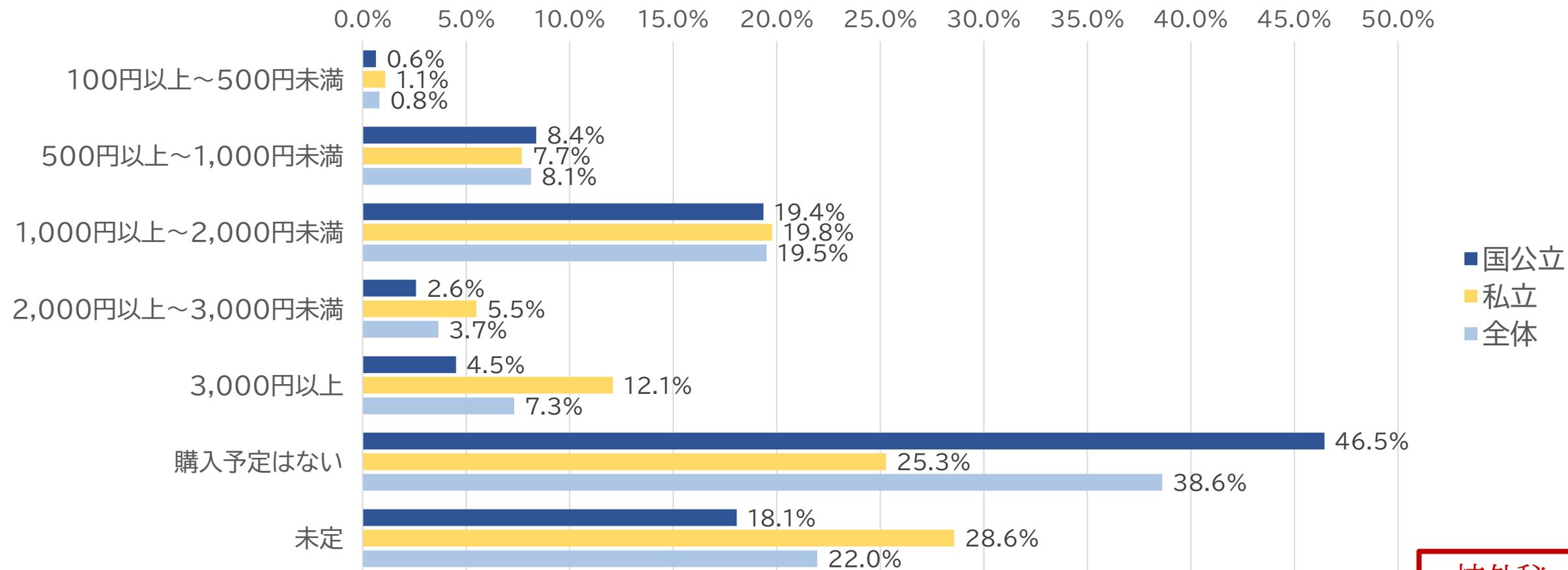
n=247



2022年度 教材費の年間予算

- ▶ 教材を購入する場合は、1,000円以上～2,000円未満の予算が多い
- ▶ 私立学校の一部では、3,000円以上の予算を確保するケースもある
- ▶ 購入を予定していない学校が国公立では約半数を占め、私立も1/4程度を占める

n=247



校外秘

5. 外部の方や、外部業者とのかかわりについて

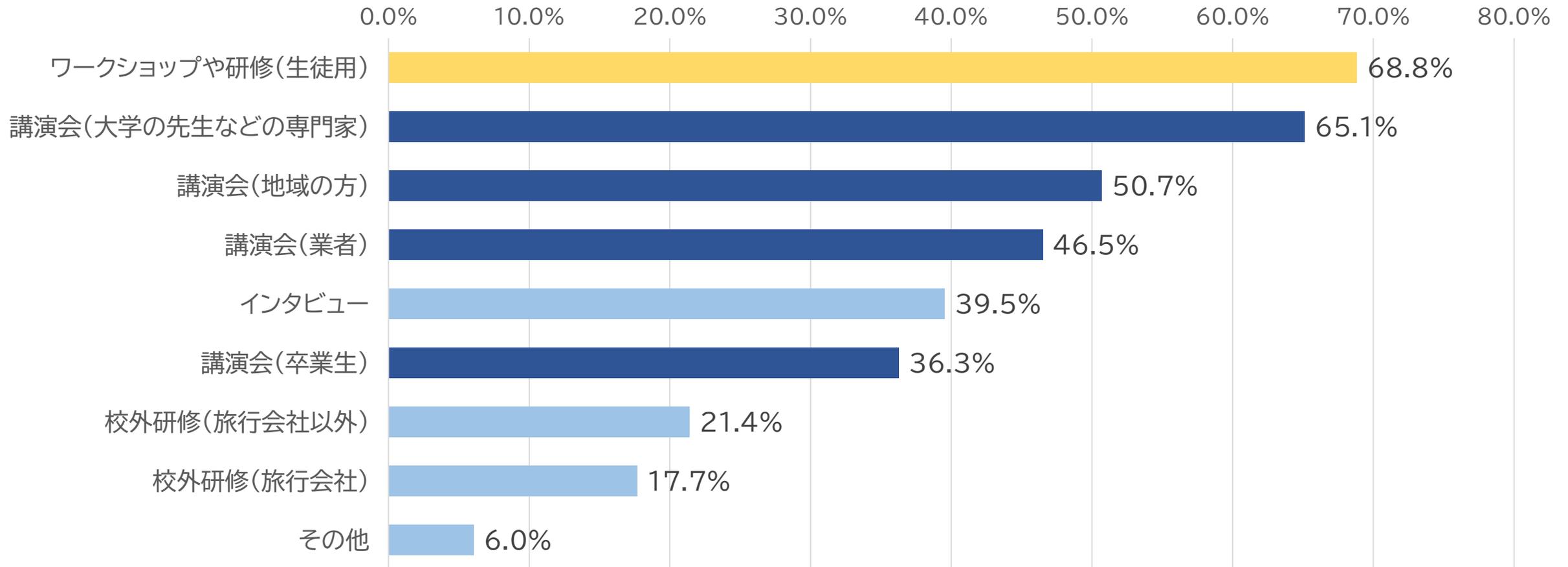
<具体的な質問内容>

- 外部の方や外部団体・企業をどのような場面で活用しますか？または活用される予定ですか？[複数選択可]
- 外部の方や外部団体・企業と連携した際の費用について教えてください。[複数選択可]

外部の方や外部団体・企業の活用場面【複数選択可】

- ▶ 247校のうち、外部連携を実施予定の学校は215校
- ▶ 215校のうち、6～7割がワークショップや研修で外部を活用
- ▶ 講演会を実施するケースも多数

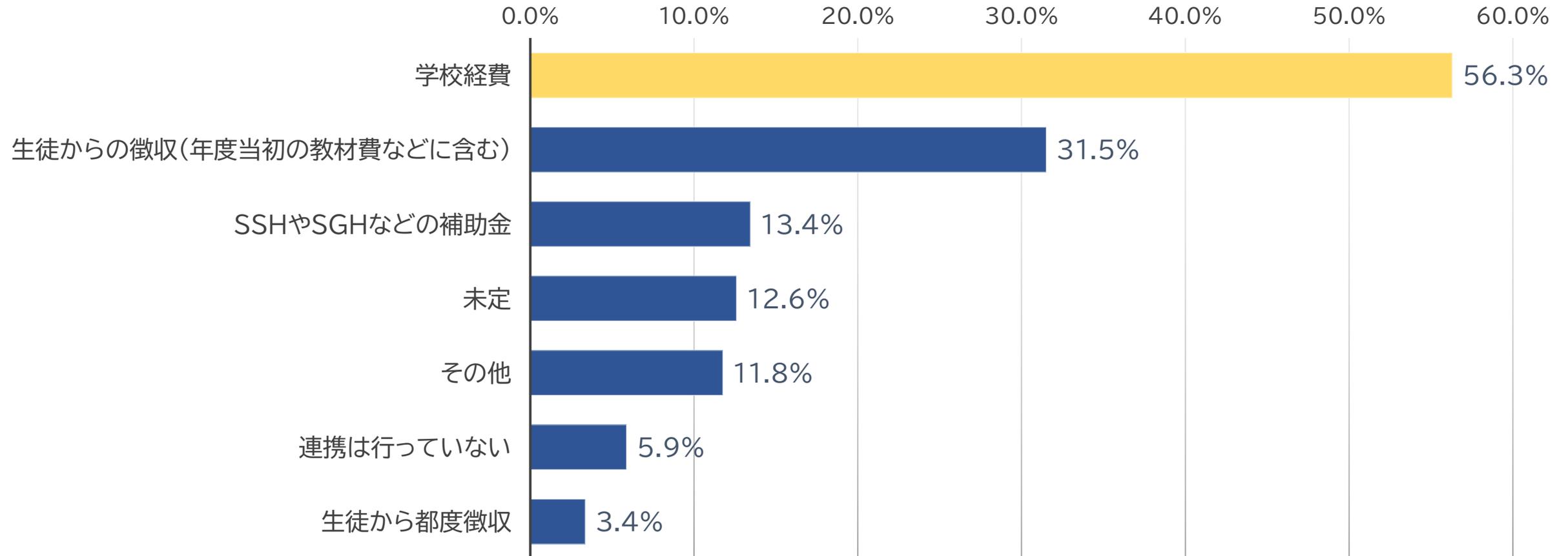
n=215



外部の方や外部団体・企業と連携した際の費用【複数選択可】

- ▶ 学校経費から捻出されることが多い
- ▶ 一部の学校では、費用がかからないように協力依頼をしているとの回答もあった

n=247

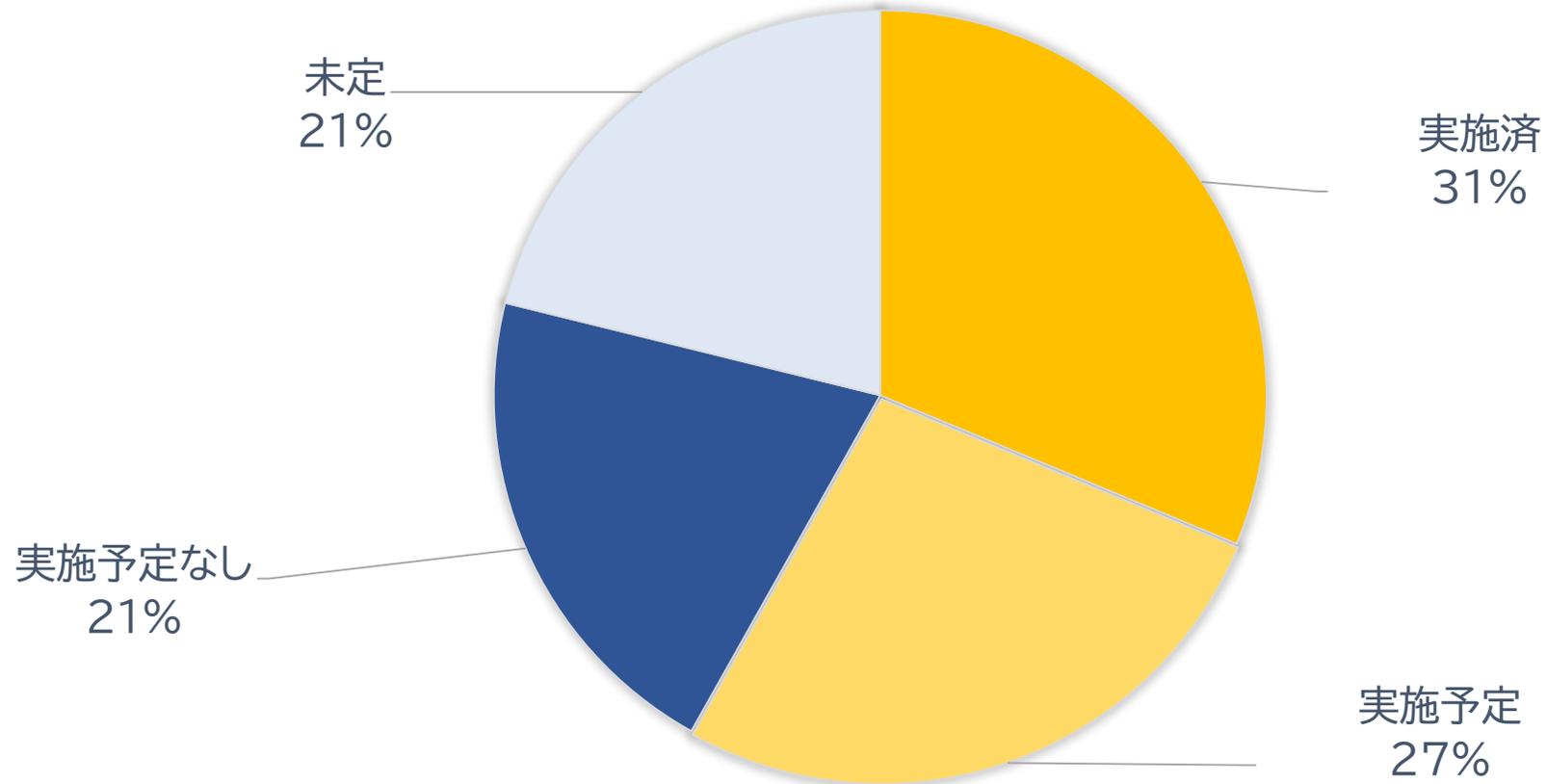


<具体的な質問内容>

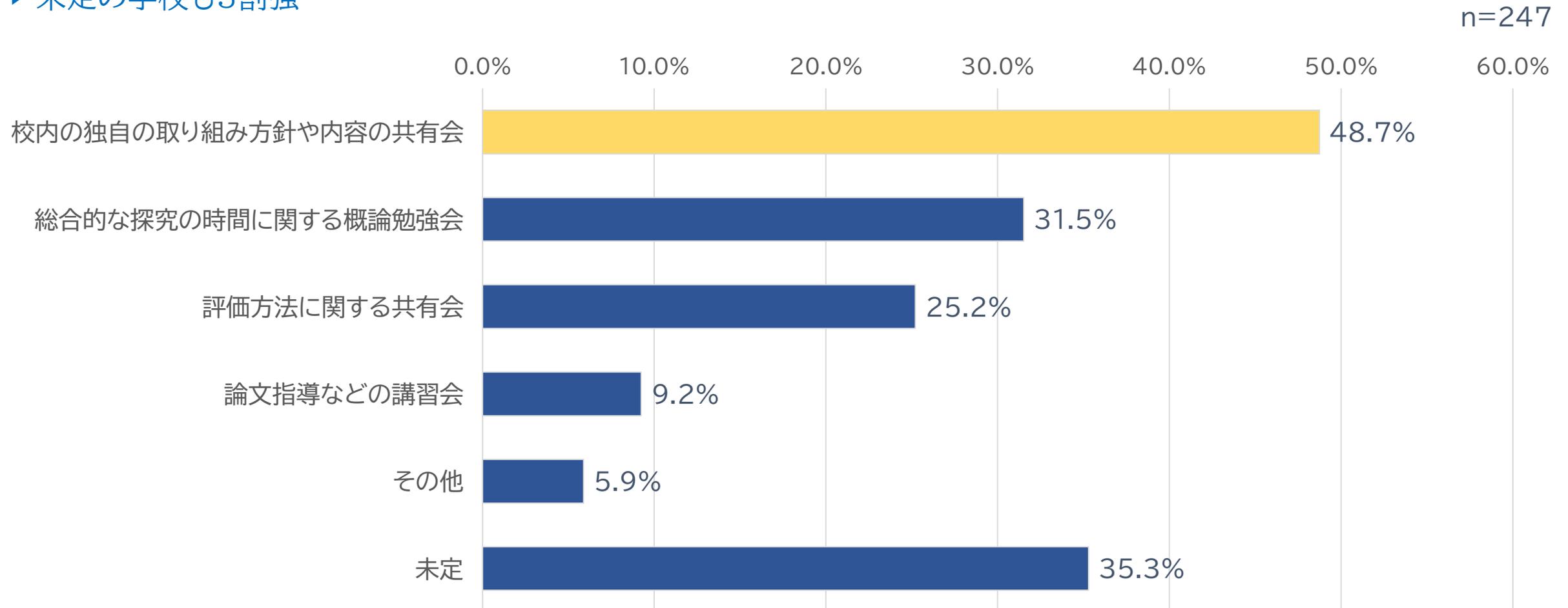
- 教員向け校内研修は行っていますか？ [単一選択]
- 教員向け校内研修の内容をお教えてください。[複数選択可]

▶ 校内研修は6割強の学校で「実施済」「実施予定」

n=247



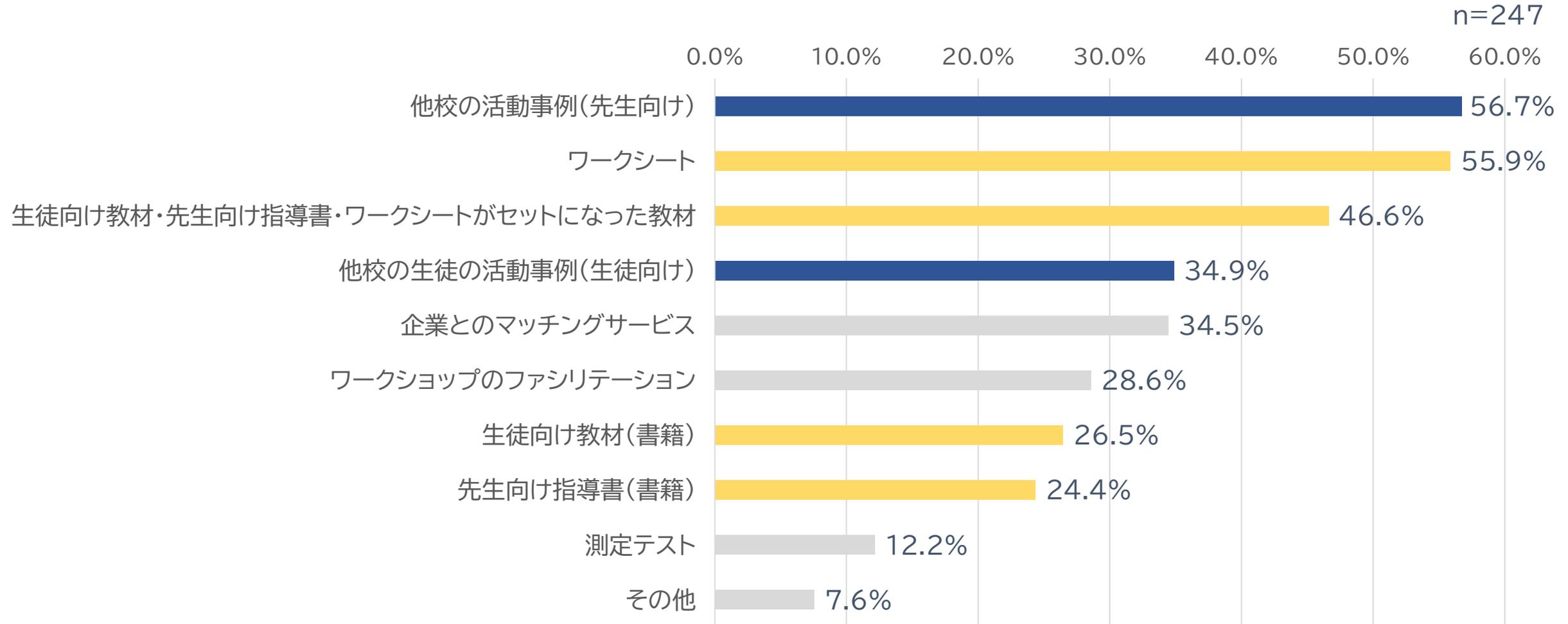
- ▶ 取り組み内容で最も多いのは、「校内の独自の取り組み方針や内容の共有会」
- ▶ 未定の学校も3割強



<具体的な質問内容>

- 検討したい商品・サービスのジャンルをお教えてください。[複数選択可]

▶ 他校の活動事例などの情報や、ワークシートが入った教材のニーズが高い



総合的な探究の時間における活動により、生徒様にどのような変化が現れたかを
可視化するためのツールをご用意しました。

基盤学力アセスメントシリーズ
LIPHARE

日本語運用能力
テスト

測定できる力

「語彙力スコア」4段階
「聞く力」
「読む力」
「書く力」

基盤学力アセスメントシリーズ
LIPHARE

課題発見・解決能力
テスト

測定できる力

「課題を見極め、情報を収集する力」
「論理を構築する力」
「意見を構築する力」
「多様性受容能力」

DiscoverE Method
ディスカバリーマソッド

測定できる力

「自己管理」
「コミュニケーション」
「異文化理解」
「チームワークと集団行動」
「リーダーシップ」
「対人コンフリクト」
「状況理解」
「意思決定と問題解決」

株式会社Z会ソリューションズ

【お問い合わせフォーム】

<https://www.zkai.co.jp/solutions/contact/>



【東京営業所】

03-5296-2830

月～金 午前9:00～午後5:30

(年末年始・土日祝日を除く)

【大阪営業所】

06-6195-8550

月～金 午前9:00～午後5:30

(年末年始・土日祝日を除く)